



聖ルカ礼拝堂 竣工記念礼拝

Service Commemorating the Restoration of St. Luke's Chapel

2023年4月28日(金) 15:00

聖ルカ礼拝堂

Friday, April 28th, 2023, 3:00 p.m., St. Luke's Chapel

学校法人 聖路加国際大学

聖ルカ礼拝堂 竣工記念礼拝 次第

- 前奏 J. E. ウェスト：祝祭の歌
John Ebenezer West：Festal Song
- 聖歌 301番 恵み深きキリスト 主よ
- 詩編 第84編
- 聖書 エフェソの信徒への手紙 2章11節～22節
- メッセージ 日本聖公会主座主教 武藤 謙一
- 聖水を用いる祈り
- 主の祈り
- 感謝の祈り、他の祈り
- 祝福
- 挨拶 学校法人聖路加国際大学 理事長 佐々木 新一
- 聖歌 302番 神の住まいの喜びは
- 後奏 J. S. バッハ：前奏曲とフーガ 変ホ長調 BWV552
J. S. Bach：Praeludium et Fuga BWV552
(学校法人聖路加国際大学オルガニスト就任記念演奏／15分)

メッセージ：日本聖公会首座主教 武藤 謙一

司式：日本聖公会東京教区主教 高橋 宏幸

補式：主教 五十嵐 正司 チャプレン

司祭 ウィリアムズ 郁子 チャプレン

執事 中村 真希 チャプレン

司祭 上田 憲明 チャプレン

奏楽：高橋 博子 (学校法人聖路加国際大学オルガニスト)

聖歌隊：聖ルカ礼拝堂聖歌隊

聖ルカ礼拝堂 竣工記念礼拝

前奏 J. E. ウェスト : 祝祭の歌

John Ebenezer West : Festal Song

聖歌 301番 一同は立って、聖歌を歌う

301

礼拝堂聖別式

[ユニゾン]

1 めぐみふかきキリスト主よききた
 2 かみのふたみはまねきをとうよけこたい
 3 このみどうはみくくのかとど世のた
 4 このみどうにみつどうひとにみちび

まえかんのうたいまささぐる
 えにあつめられはまのちのパン
 びをあゆむひとほいとわのく
 きとめぐみあたえあいのみちる

かみのみどうをしゆくしたまれえ
 血のさかどきにやくしなわれゆく
 いのちをのいとめまなかせたゆま
 いのりのいえととせなさせたまえ

Christe cunctorum dominator alme
 Latin, 9c.

CHRISTE SANCTORUM
Antiphoner, 1681
 harm. Ralph Vaughan Williams (1872-1958)

詩編を一節ずつ交互に唱える

詩 編 第 8 4 編

- 1 万軍の主よ || あなたの住まいは美しい
- 2 わたしの魂は主の庭を慕い || 心を込めてあなたの命を喜び歌う
- 3 万軍の神、わたしの王、わたしの神よ || あなたの祭壇の傍らに、雀はすみかを見つけ、燕は巣を作ってひなを育てる
- 4 幸せな人、あなたの家を住まいとし || 絶えずあなたをたたえる人
- 5 幸せな人 || あなたによって奮い立ち、巡礼を志す人
- 6 かれた谷を通るとき、彼らはそこを泉とし || 秋の雨の祝福を受ける
- 7 力から力へと強められて進み || シオンであなたを仰ぎ見る
- 8 万軍の神、主よ、わたしの祈りに心を留め || ヤコブの神よ、耳を傾けてください
- 9 神よ、わたしたちの盾よ || 油を注がれた者を顧みてください
- 10 あなたの庭で過ごす一日は、千日にもまさる || あなたに逆らう者の幕屋にとどまるより、あなたの家の門守としてください
- 11 神よ、あなたは光り輝く盾。恵みと栄えを与え || とがなく歩む者に幸せを拒まれない
- 12 神よ、万軍の主よ || あなたに寄り頼む人は幸せ
栄光は || 父と子と聖霊に
初めのように、今も || 世々に限りなく アーメン

聖 書 エフェソの信徒への手紙 2章 11節～22節

司式者 聖書のみ言葉を聞きましょう

会衆は着席する。

だから、心に留めておきなさい。あなたがたは以前には肉によれば異邦人であり、いわゆる手による割礼を身に受けている人々からは、割礼のない者と呼ばれていました。また、そのころは、キリストとかわりなく、イスラエルの民に属さず、約束を含む契約と関係なく、

この世の中で希望を持たず、神を知らずに生きていました。しかしあなたがたは、以前は遠く離れていたが、今や、キリスト・イエスにおいて、キリストの血によって近い者となったのです。実に、キリストはわたしたちの平和であります。二つのものを一つにし、御自分の肉において敵意という隔ての壁を取り壊し、規則と戒律づくめの律法を廃棄されました。こうしてキリストは、双方を御自分において一人の新しい人に造り上げて平和を実現し、十字架を通して、両者を一つの体として神と和解させ、十字架によって敵意を滅ぼされました。キリストはおいでになり、遠く離れているあなたがたにも、また、近くにいる人々にも、平和の福音を告げ知らせられました。それで、このキリストによってわたしたち両方の者が一つの霊に結ばれて、御父に近づくことができるのです。従って、あなたがたはもはや、外国人でも寄留者でもなく、聖なる民に属する者、神の家族であり、使徒や預言者という土台の上に建てられています。そのかなめ石はキリスト・イエス御自身であり、キリストにおいて、この建物全体は組み合わされて成長し、主における聖なる神殿となります。キリストにおいて、あなたがたも共に建てられ、霊の働きによって神の住まいとなるのです。

メッセージ

聖水を用いる祈り

全能の神よ、あなたは生ける水の泉であるキリストのうちにわたしたちを祝福し、その清い姿に似た者としてくださいます。今、この水を信仰をもって受ける人々が、新しいのちに恵まれ、聖霊の力に強められて、神の子としてふさわしく生活することができますように。わたしたちの主イエス・キリストのみ名によってお祈りいたします。 **アーメン**

主の祈り

司式者 主よ、憐れみをお与えください

会衆 キリストよ、憐れみをお与えください

司式者 主よ、憐れみをお与えください

一同、主の祈りを唱える。

天におられるわたしたちの父よ、

み名が聖とされますように。

み国が来ますように。

みこころが天に行われるとおりに地にも行われますように。

わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。

わたしたちの罪をおゆるしくください。わたしたちも人をゆるします。

わたしたちを誘惑におちいらせず、悪からお救いください。

国と力と栄光は、永遠にあなたのものです アーメン

感謝の祈り

司式者 主よ、どうかわたしたちの堅固な岩となってください

会衆 わたしたちを救う守りの家となってください

司式者 主よ、ここで献げるわたしたちの働きを祝福してください

会衆 み名の栄光のために用いてください

司式者 主よ、わたしたちの祈りをお聞きください

会衆 わたしたちの声を主のみ前に届かせてください

司式者 主は皆さんとともに

会衆 また、あなたとともに

司式者 祈りましょう

全能の神よ、絶えることのない恵みによってわたしたちを励まし、

この礼拝堂の改修工事を全て導いてくださったことを感謝いたします。

どうかこの礼拝堂で祈る人びとの祈りに耳を傾け、み心に適

う願いをお聞き入れください。あなたの御名を賛美し、あなたの愛

に感謝し、わたしたちも愛をもって神と人に仕え、み名の栄光を現し、苦しみ悩む人々とともにあなたのみもとにある喜びにあずかることができるようにしてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。 **アーメン**

聖路加国際大学のため

慰めと癒しの源である神よ、み子イエス・キリストの模範に習い、主のみ名によって建てられた聖路加国際大学の各事業体の働きをますます盛んにするようにわたしたちを励まし導いてください。また、医師、看護師、職員、そして教える者と働く者と学ぶ者に知恵と力を与え、愛と忍耐の心を育てて、病める人びとの身と心を癒し、強め、主のみ業を現すことができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。 **アーメン**

祝福

主が皆さんを祝福し、皆さんを守られるように。主がみ顔をもって皆さんを照らし、皆さんを恵まれるように。主がみ顔を皆さんに向け、皆さんに平安を賜るように。 **アーメン**

挨拶

学校法人聖路加国際大学 理事長 佐々木 新一

聖歌 302番 一同は立って、聖歌を歌う

302

礼拝堂聖別式

かみのすまいのよろこびは -
 世のたのしみにまさるなり

7575

- | | | |
|---|---------------------------------------|---------------------------|
| 1 | かみ す
神の住まいの
よ たの
世の楽しみに | よろこ
喜びは
まさるなり |
| 2 | こころ ひと
心一つに
いの いえ
祈りの家の | つど
より集う
した
慕わしき |
| 3 | あら い
新たに生きる
めぐ みず
恵みの水は | せんれい
洗礼の
きよ
清らなる |
| 4 | しゅ ちか
主も近くまし
しゅく 聖 卓
祝す みつくえ | あめ かて
天の糧
とうとしや |
| 5 | つ いのち
尽きぬ命の
しめ ことば
示す み言葉 | なぐさ
慰めを
喜ばし |
| 6 | かお あお
み顔を仰ぎ
いざ たたえなん | せいと
聖徒らと
主の み名を |

詩84:11 イザ56:7 ヨハ3:5 1コリ10:16-17 ロマ15:4

We love the place, O God
 William Bullock (1798-1874)

NEWLAND
 James Armstrong (1840-1928)

後奏 J.S. バッハ：前奏曲とフーガ 変ホ長調 BWV552

J. S. Bach : Praeludium et Fuga BWV552

(学校法人聖路加国際大学オルガニスト就任記念演奏)

前奏曲 変ホ長調 (約 8 分)

フーガ 変ホ長調 (約 7 分)

後奏曲について

高橋博子

“建築”から思い浮かべる作曲家は？と聞かれたら、おそらくほとんどのオルガニストが J.S. バッハと答えるはずです。対位法によって練り上げられてゆく壮大な彼の建築物は、一音たりとも動かさない完璧さを持って書かれています。

この〈前奏曲〉と〈フーガ〉は、変記号(♭)が三つの変ホ長調で、各々三つの部分から成り、主題は三つという具合で、何重にも三位一体(父なる神、子であるキリスト、聖霊)を象徴しています。

驚異的なのはフーガです。父(第一主題)が支配する第一部は、どっしりとした 5 声のフーガ、神であり人であるキリスト(第二主題)を表す第二部は、バッハならではの神学が隠されています。第二部全体の小節数をきっちり二分割し、この後半で既出の父の主題との二重フーガになります。まるで、父が子に寄り添うように。そして、聖霊(第三主題)の第三部は、三つのペルソナが絡み合う眩い三重フーガ、三位一体の完成！

また、「聖アンのフーガ」という愛称で親しまれているフーガは、聖母マリアの母アンナの名を冠するイギリスの教会オルガニストが作曲した聖歌(下楽譜)に似ているという説によるもので、その歌詞にある eternal home は、まさに私たちの礼拝堂にも思えてきます。

大学、病院、礼拝堂という聖路加ならではの三位一体を思って、本日の後奏にこの作品を選ばせていただきました。

467

O God, Our Help in Ages Past

ISAAC WATTS

WILLIAM CROFT

1. O God, our help in a - ges past, Our hope for years to come,
2. Un - der the shad - ow of Thy throne Still may we dwell se - cure;
3. Be - fore the hills in or - der stood, Or earth re - ceived her frame,
4. Time, like an ev - er - roll - ing stream, Bears all its sons a - way;
5. O God, our help in a - ges past, Our hope for years to come,

Our shel - ter from the storm - y blast, And our e - ter - nal home!
Suf - fi - cient is Thine arm a - lone, And our de - fense is sure.
From ev - er - last - ing Thou art God, To end - less years the same.
They fly, for - got - ten, as a dream Dies at the ope - ning day.
Be Thou our guide while life shall last, And our e - ter - nal home. A - MEN.



高橋博子 (オルガン)

Hiroko TAKAHASHI, org

東京藝術大学オルガン科卒業、安宅賞受賞。同大学大学院修了。

公益財団法人明治安田クオリティオブライフ文化財団の奨学生としてドイツ国立ハンブルク音楽演劇大学を卒業し、公益財団法人平和中島財団の奨学生として同大学国家演奏家試験を最優秀で修了。

オルガンを今井奈緒子、W.ツェラー両氏に、ハルモニウムを伊藤園子氏に師事。1999年ツェレ・ニーダーザクセン国際オルガニストコンクール優勝、2000年北ドイツ放送局(NDR)音楽賞国際コンクール優勝。

2020年収録のCD「シャルル・トゥルヌミール」(ALCD-9217)は、「レコード芸術」特選盤に、朝日新聞、読売新聞、「音楽現代」の推薦盤に選ばれた。

2022年オルガンコンサート「英国音楽譚」(新宿文化センター)、2020年オルガンリサイタル「生誕150年トゥルヌミールへの讃歌」(新宿文化センター)、2020年オルガンプロムナードコンサート(サントリーホール)等の演奏活動を行う。

2004年聖ルカ礼拝堂にて洗礼を受ける。2018年5月より聖ルカ礼拝堂オルガニスト。2023年4月学校法人聖路加国際大学オルガニストに就任。